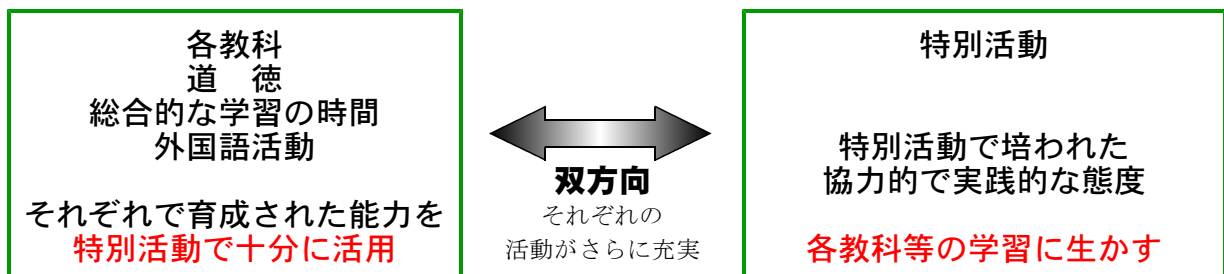


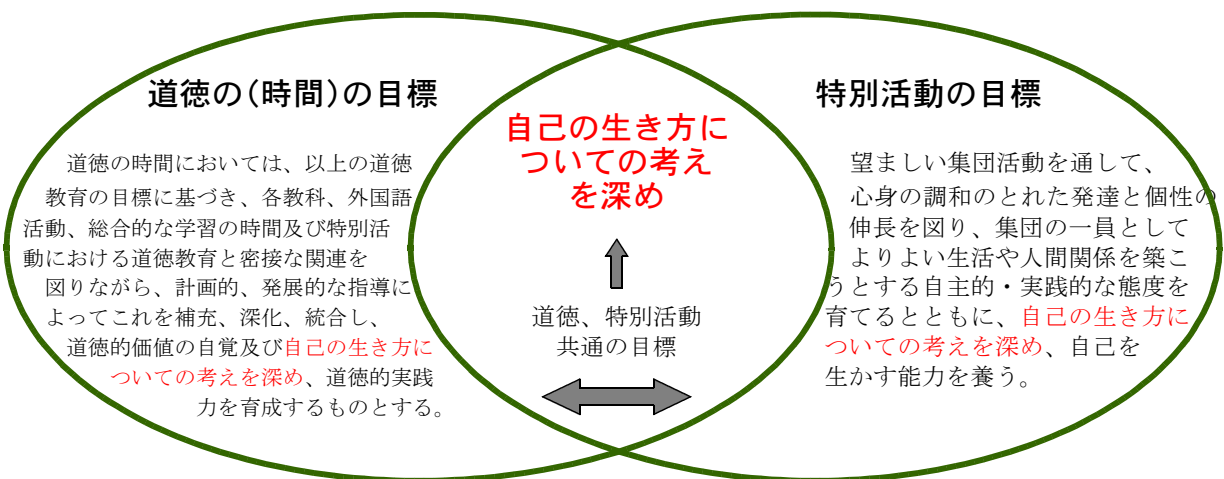
努力事項解説 その8 (特別活動 全般)

各教科、道徳、総合的な学習の時間などの指導との関連を図り、
全教師の協力の下、調和のとれた「全体計画」と
「年間指導計画」を作成しましょう。

1 特別活動と、各教科、道徳、総合的な学習の時間などとの双方向の関連を図り、「全体計画」及び「年間指導計画」を作成しましょう。特に、道徳教育との関連を積極的に図ることが重要です。



道徳と特別活動は目標も重なる = 積極的に関連を図る



2 学校としての「重点目標」を定め、「全体計画」に示しましょう。

児童や地域の実態を踏まえ、学校として特別活動で何を重視すべきかなどの「重点目標」を定め、それを達成するために、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間との関連を図った「全体計画」や「年間指導計画」を作成しましょう。

3 全教師の協力の下、調和のとれた「全体計画」と「年間指導計画」を作成しましょう。

小学校学習指導要領解説特別活動編には、次のように書かれています。

特別活動の目標は、特別活動の各活動・学校行事の実践的な活動を通して達成されるものであり、その指導計画は、学校の教育目標を達成する上でも重要な役割を果たしている。したがって、調和のとれた特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画を全教師の協力の下で作成することが大切である。

ここで示した「特別活動の全体計画」とは、特別活動の目標を調和的かつ効果的に達成するために各学校が作成する、特別活動の全体の指導計画のことである。

このような特別活動の全体計画を作成する際には、全教師が指導に当たるため、全教師の共通理解と協力体制が確立されるよう、例えば、各学校における特別活動の役割などを明確にして重点目標を設定したり、各活動・学校行事の内容を示したりすることが大切である。また、特別活動に充てる授業時数や設置する委員会、クラブや実施する学校行事等を明らかにしておくことが大切である。さらに、児童の実態を十分に把握するとともに、低・中・高学年などの発達の段階や特性を生かすようにし、教師の適切な指導の下に、児童の自主的、実践的な活動が助長できるような全体計画を作成することが求められている。

～ ポイント ～

- 特別活動の目標を調和的、効果的に達成することができる指導計画を作成しましょう。
- 全教師の共通理解と協力体制を確立できる指導計画を作成しましょう。
 - ・ 教師の役割分担を明確にする。
 - ・ 学校としての重点目標を設定する。
 - ・ 各活動・学校行事の内容を明確に示す。
 - ・ 特別活動の時数や、設置する委員会、クラブ、学校行事等を明らかにする。
 - ・ 低、中、高学年ごとに、児童の実態や発達段階を生かすようにする。

このようにして指導計画を作成し、教師の適切な指導の下に、児童の自主的、実践的な活動が助長できるような全体計画を作成しましょう。



今回は、小学校を中心に考えてみましたが、中学校も同様にとらえてください。次回は、『学校の実態や児童生徒の発達段階、特別活動の特質を踏まえるとともに、各活動・学校行事を通して育てたい態度や能力を明確にした創意ある指導計画を作成しましょう。』について考えてみます。

10月25日（金）頃アップの予定です。